

「祝福の原点へ」
聖書箇所：創世記35章1~15節

【1】 立って、ベテルに上り…

- ・神がヤコブに命じられたこと
- ・ベテル
 - 神の祝福と守りの約束が与えられた記念の場所
 - エルサレムの北 19 ㎞に位置、別名ルズ(創世記 28:19)
- ・ヤコブのベテル行きの意味
 - ヤコブの生涯における焦点のような場所(ゲレク・ホナ)
 - ベテルの地における「終わり」と「始まり」

【2】 新しくされた者として

- ・一族が一丸となって再出発するために必要なこと
 - 過去の習慣との訣別
 - 「取り除き」、「身をきよめ」、「衣を着替える」の意味
- ・神からの恐怖
 - 「神の恐れ」(直訳) 参照:Ⅱ歴代 14:14 等
 - 眠っている間にも働かれる神(創世記 31:24)
 - 神を信頼する者に与えられる眠り(参照詩篇 3:5)

▷今日の私たちが「取り除き」、「身をきよめ」、「衣を着替える」べきものはあるだろうか。

【3】 彼を祝福した

- ・「エル・ベテル(ベテルの神)」
 - 神がヤコブの人生において特別に介入された記念の場所(創世記 32:9~12)
- ・二十年以上の月日を経て
 - 変わらないこと
 - 変わったこと
- ・「苦難」を通して神を知る

「私たちは立って、ベテルに上って行こう。私はそこに、苦難の日に私に答え、私が歩んだ道でともにいてくださった神に、祭壇を築こう。」(35:3)

▷苦難を通して神の取り扱いを受け、私たちの歩む道に同伴してくださる神を覚えることができますように。

